

**<仕様書 第6(1) ④CMSの構築>**

CMSソフトウェアは商用を用いるものとし、受諾者においてソフトウェアのバージョンアップや不具合対応等適切なサポートを実施すること。

問：

- ①Wordpress などのオープンソース型 CMS の採用は可能か。
- ②お知らせなど CMS 機能を使ったコンテンツ更新の頻度はどの程度を予定しているか。

答：

- ①差し支えありません。
- ②月1回程度を予定しています。

**<仕様書 第6(1) ⑤ホームページの多言語化対応>**

日本語の他に英語翻訳を可能とする機能を搭載すること。

問：AIによる自動言語翻訳など、翻訳機能に指定はあるか。

答：翻訳の手法は問いません。自動翻訳機能を使う場合、機能の指定はありません。なお、英語版のページには、日本語版のページを英語を母国語とする者が文章校正したものが掲載されるイメージです。

**<仕様書 第6(1) ⑥セキュリティ及び関連法令等の対応>**

常時 SSL 暗号化通信に対応させることとし、SSL 証明書は有効期限開始日から1年間有効とする。

問：SSLは無料有料どちらでも問題ないか。もし、有料の場合、ご指定のSSL証明書はあるか。

答：無料有料の指定はありませんが、自治体HPとして必要な信頼性は確保していただく必要があります。

**<その他>**

問：オンラインでのお打合わせは可能か。

答：可能です。

**<その他>**

問：ページ数の制限はありますか。

答：予算額の範囲内であれば、ページ数の制限はありません。